令和７年度 第１回 八尾市文化財保護審議会　会議録

開催日時		令和７年６月４日(水) 13 時 30 分～15 時 00 分
開催場所		八尾市役所本館７階　701 会議室
出席者	委　員	山中浩之委員・森隆男委員・綿貫委員・瀧浪貞子委員・石川委員・杉野丞委員・稲城信子委員・長友委員・禰冝田佳男委員　（欠席委員１名）
	事務局	岩井魅力創造部長・西澤課長・藤井課長補佐兼係長・淵
傍聴者		なし
次第		報告１　令和６年度における文化財の調査及び保存・活用等の状況 （１）国史跡由義寺跡（第６次）の調査 （２）文化財の保存・活用 案件１　令和７年度の指定文化財等の調査及び保存・活用計画 （１）令和７年度の市指定文化財候補 （２）市指定文化財修復補助事業（主体：慈願寺） （３）史跡高安千塚古墳群保存・活用事業 （４）国史跡由義寺跡整備事業 （５）国登録文化財木村家住宅の資料調査と整備 （６）その他報告 その他
		◎岩井魅力創造部長による開会のあいさつ **報告１　令和６年度における文化財の調査及び保存・活用等の状況** （１）由義寺の塔基壇下の下層基壇が 1 辺約１７ｍであること、また上層の由義寺基壇の工事では、湧水粗砂層まで掘削し、下層基壇で使用した階段や羽目石等の切石等を転用して軟弱地盤を補強し、1.5mほど盛土していたことを確認。現地説明会では約 230 人、12 月に実施した府下の古代寺院の調査と整備事例のシンポジウムは、106 名の方の参加があったことを報告。 （２）平成 9 年度の市指定である大聖勝軍寺木造聖徳太子孝養像二王子立像が、聖徳太子及二王子立像として 3 月 24 日付で大阪府指定文化財となったことを報告。高安千塚の樹木伐採や除草を 3 回実施、また山畑の俊徳丸鏡塚古墳の除草を 5 月、10 月、2 月に実施したことを報告。 「史跡心合寺山古墳 VS 府史跡愛宕塚古墳と題した学芸員プレゼンバトル」を 3 月に行ったこと、また、14 名の史跡ボランティアに参加してもらい高安千塚古墳群の見廻り、廃棄物の除去、除草を行ったことを報告。 ◆【質疑・意見】 〇学芸員のプレゼンバトルとはどのようなものか。 （事務局）：二人の学芸員が心合寺山古墳と愛宕塚古墳を題材に、どちらの古墳が魅力的かをそれぞれ現地で説明し、参加者に採点してもらいました。古墳の「推し」ということで熱意が伝わり、参加者の反応も大きなものがありました。 〇シンポジウムの広報の仕方と募集方法について聞きたい。 （事務局）：本市のホームページと広報誌だけでなく、参加してもらった４市にも協力いただきました。募集はメールでの応募を基本とし、参加者は市内と市外がおよそ半分くらいの割合となっています。 〇ボランティアの年齢層と募集方法について聞きたい。 （事務局）：史跡ボランティアは高齢者の方が多く、文化財調査ボランティアは大学生の方にも参加いただいている。募集はホームページと広報誌が主体だが、参加者の口コミも重要な方法と考えています。具体的な状況は口コミのほうが伝わりやすいし、その分興味も湧きやすいと思います。

案件１　令和７年度の指定文化財等の調査及び保存・活用計画

（１）令和 7 年度の指定文化財候補として、大竹富士垢離講資料と心合寺山古墳出土水の祭祀場を表した埴輪とすることを説明

◆【質疑・意見】

○平成 21 年頃に講が解散したようだが、聞き取り調査を行っているのか、また動画などはあるのか。

（事務局）：資料の寄附を受けの話があった時に資料館で調査を行っています。動画は撮っていません。

○心合寺山古墳の埴輪は既に指定されていると思っていたが、何故いまなのか。

（事務局）：埴輪の価値は理解していますが、大聖勝軍寺の太子像のように府や国指定とするには段階的に行う必要があります。今般、その候補について府から問合せがあったことから今後のステップアップを目指しての指定と考えています。

（２）2 か年計画で行っている市指定文化財の慈願寺所蔵絵画資料修復事業では、今年度は 7 幅修復することを説明

（３）国史跡高安千塚古墳の公有化とフェンス等の設置工事について説明

◆【質疑・意見】

○高安千塚についてどの程度保存されているのか。現状はどうなっているのか。

（事務局）：高安千塚は４つの支群に分かれており、現在は服部川支群を中心に国史跡となっている。他に関連する郡川西塚古墳等を追加指定した。千塚全体の指定は当初より視野に入れており、他事業とのバランスを考えて高安山麓の古墳の保全に取り組みを考えています。

○水の祭祀場の埴輪に関するシンポジウムや高安千塚が史跡になって 10 年なのでシンポジウム等を行わないか。

（事務局）：埴輪は考古学に興味がある人は知ってるが、周知の機会は多い方が良いと思いますので、市指定等になれば検討したいと考えております。千塚については４月に大阪ディスティネーションキャンペーンで見学ツアーを行いました。今後も普及活動を継続して行ってまいります。

（４）国史跡由義寺の 4 カ年で整備する予定で今年度は基盤整備と外構工事を行うこと、またガイダンス施設の基本設計・実施設計を行うことを説明

（５）国登録文化財の木村家住宅の活用方法を検討するためにサウンディング調査を行っていることを説明

◆【質疑・意見】

○木村家住宅整備について、サウンディング調査はどのような目的で行っているのか。

（事務局）：木村家住宅を民間でどのように活用できるのかということについて、広い視野で民間の意見を聞くというもので、その意見をそのまま吸い上げるというものではありません。

○木村家資料を調査しているが、今後の指定等についてどのように考えているのか。

（事務局）：現在、調査を行って全体の概要をまとめているところであり、それがある程度、進んだところで委員にご相談させていいただきたいと考えています。

（６）その他報告で、歴史民俗資料館の改修工事の実施のほか由義寺のシンポジウム、旧市史編さんに係る講座を 11 月以降に行うこと、また、高安の刊行物を作成する予定であることを説明

◆【質疑・意見】

○大阪万博で、文化財を活用されているとのことだが、日本の文化財を世界に知らしめるということでも大きな意味がある。そうした情報についても資料に写真等を掲載していただきたい。

		（事務局）：秋にも古代衣装の着装体験を行う予定で、そうしたものも含めて資料に掲載していきます。 ○古代衣装体験は、平城や藤原京のイメージが強いので、由義寺らしい歌垣の場面などをアピールしてはどうか。 （事務局）：歌垣の絵があり、その前で古代衣装を着ていただいた方に記念撮影をしてもらうことも検討しており、八尾の魅力としてアピールしてまいります。 以上の議事を経て、案件１については出席委員から了承された。 **その他** なし ◎西澤観光・文化財課長による閉会のあいさつ

会議録作成日	令和７年６月９日	主管課	観光・文化財課